

就職活動における「企業」と「親」に関する調査 ～ 2019年「オヤカク」最新動向を公開 ～

株式会社ネオキャリア（本社：東京都新宿区、代表取締役：西澤亮一、以下、ネオキャリア）は、“就職活動における「企業」と「親」に関する調査”を実施しました。この度、結果を取りまとめましたので、概要を報告します。

本調査で定義する「オヤカク」について

オヤカクとは、「親に確認」の略称で、「内定者（または選考中の学生）の内定承諾を親が賛成しているか」を企業が内定者（または選考中の学生）に確認すること

【「オヤカク」ワード認知度

- 企業の人事担当者における「オヤカク」のワード認知度は、59.5%。もっとも高い認知である「内容まで知っていた」は36.6%と、前回対比で7.6ポイント増加した。（P.3）

【「オヤカク」施策の実施状況】

- 企業が実際に行う「オヤカク」施策について、昨年との比較で、実施割合が高まった。また「選考前」では「企業情報資料の送付」「親向けの採用情報ページの作成」が、「選考中」ではこれに加えて「企業製品の親への送付」「企業情報ムービーの配布」が、「内定時・内定後」ではさらに「親向けの内定理由通知書の送付」「親向けの内定同意書の用意」を行う企業が増加した。（P.4）
- 昨年との比較で、「内定承諾にあたり、企業からの対応は得に必要ない」と考える親・企業が増えた。一方で、各施策をみると、企業側は11項目中8項目で前年を上回り、親を対象とした施策への企業の関心の高まりが見て取れる。（P.6）

【親の就職活動に対する支援】

- 子の就職活動にあたり、資金的な援助を行ったことのある親は32.4 %と、前年度の33.3%から0.9ポイント減。親が与える支援金の平均は84,055円と、前回の118,253円から34,198円減少した。（P.7）
- 子に対して行うアドバイス頻度は、「週に1回程度」が19.4%で最多。「相談する」計では昨年比で2.6ポイント減少するなど相談頻度は全体的に減少傾向だが、「『週に1回程度』以上の頻度」と括ると昨年比で1.3ポイント上昇した。（P.9）

【就職活動のトレンドについての意識（親／企業）】

- 子の就職活動に対する親の考え方として、各項目に対し「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したうち、最も高いのは、「子供に就職してほしい企業とそうでない企業がある」（55.3%）、次いで「周りに流されず、自分だけで決めてほしい」（53.6%）。昨年との比較では、「名前だけで企業を判断してしまうことがある」が5.5ポイントと最も大きく増加。その他、「なかなか子離れできていない自分がいる」「地元に残ってほしい」と伝えたことがある」が昨年比で増加した。この他の項目はすべて昨年比で減少した。
- 学生の就職活動に対する企業（人事担当者）の意識として、各項目に「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したうち、もっとも高いのは「新卒生の親の関与が高まっている」（58.3%）。次いで「親の意向によって内定辞退を申し出てきたことがある」（47.9%）。

【本件についての報道関係のお問い合わせ先】

株式会社ネオキャリア 広報部 TEL：03-5657-3187 E-mail：koho@neo-career.co.jp

目次

- 1 【企業】「オヤカク」の認知状況……………P.3
- 2 【企業】「オヤカク」の実施状況……………P.4
- 3 【企業／親】親が希望する「オヤカク」施策／企業が必要だと考える「オヤカク」施策…P.6
- 4 【親】子の就職活動に対する支援（資金）……………P.7
- 4 【親】子の就職活動に対する支援（アドバイス）……………P.9
- 5 【親】就職活動のトレンドについての意識……………P.10
- 6 【企業】就職活動のトレンドについての意識……………P.11

調査概要

- 調査目的 「オヤカク」について、親の意識・意向や行動、また企業の意識・意向や行動の最新状況を把握する
- 調査対象
親：2019年3月に大学／大学院を卒業する子弟をもつ、
首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、関西（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）、東海（愛知県、岐阜県、三重県）在住の69歳までの男女

企業：主として採用業務に携わる、全国の20～69歳の男女
- 調査方法 マクロミル社の調査モニターを用いたインターネットによるアンケート調査
- 集計対象期間
スクリーニング調査：2018年12月1日～12月5日
本調査：2018年12月5日～12月10日
- 集計数
スクリーニング調査：49,000サンプル（親） 81,000サンプル（企業）
本調査有効回答数：618サンプル（親） 309サンプル（企業）
- 調査委託先 株式会社マクロミル

本調査の情報を使用される際は、下記問い合わせ先までご一報をお願い致します。

【本件についての報道関係の問い合わせ先】
株式会社ネオキャリア 広報部 TEL：03-5657-3187 E-mail：koho@neo-career.co.jp

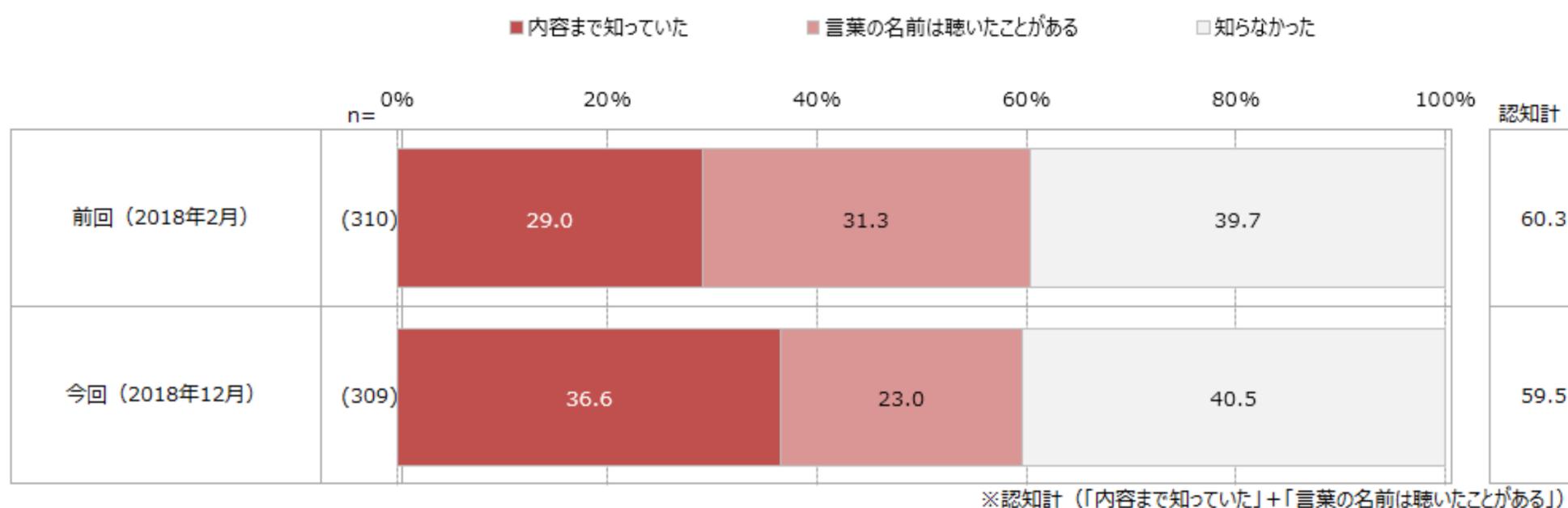
1 【企業】「オヤカク」の認知状況

- 企業の人事担当者における「オヤカク」のワード認知度は、59.5%。もっとも高い認知である「内容まで知っていた」は36.6%と、前回対比で7.6ポイント増加した。
- 企業規模別の認知率は、300名未満が51.4%、300-1000人未満が56.3%、1000名以上が70.9%と、企業規模が大きくなるほど高い。

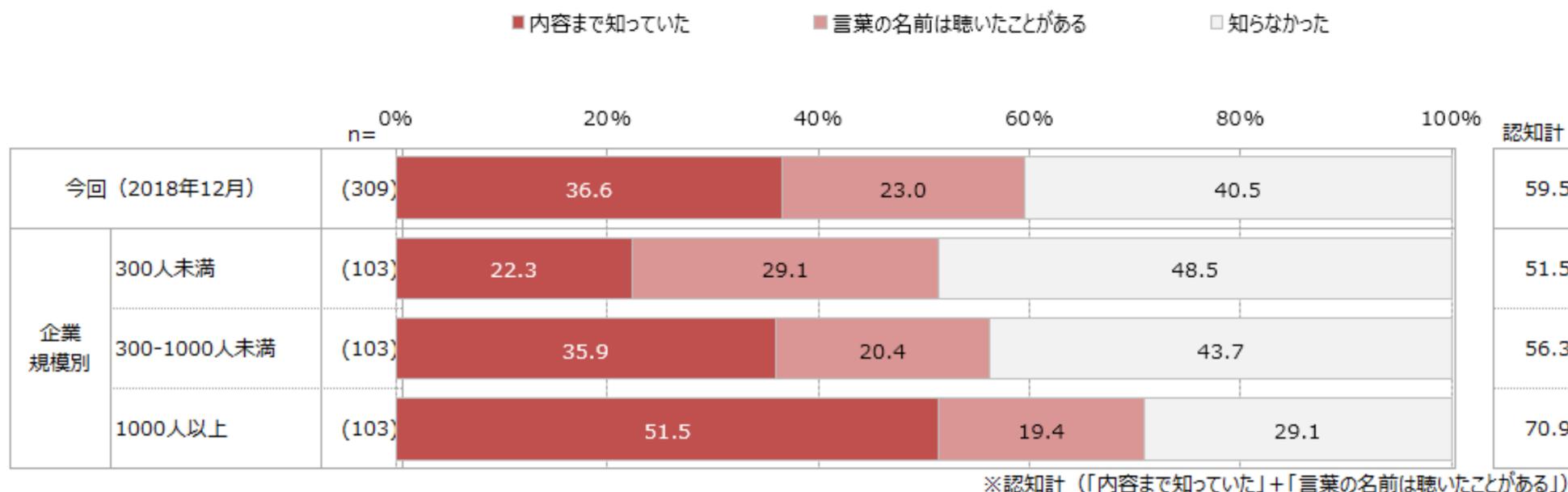
※本調査においては、「オヤカク」を以下と定義した。

オヤカクとは、「親に確認」の略称で、「内定者（または選考中の学生）の内定承諾を親が賛成しているか」を企業が内定者（または選考中の学生）に確認すること

■企業における「オヤカク」の認知度（企業／単一回答）

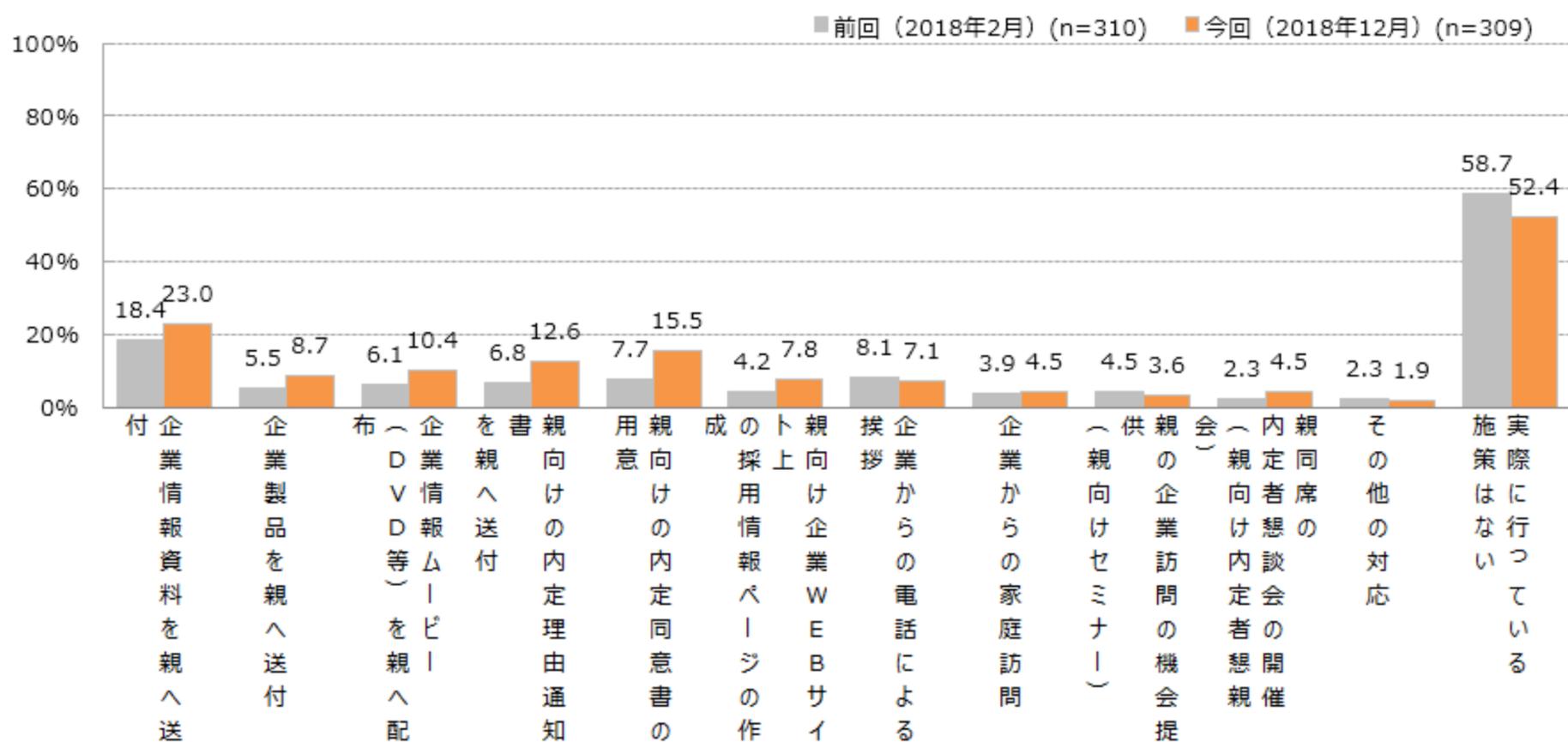


■企業における「オヤカク」の認知度（企業／単一回答） <企業規模別>



2 【企業】企業が実際に行った「オヤカク」施策-2

■ <内定時・内定後> 内定者の親に対して行った施策（企業／複数回答）

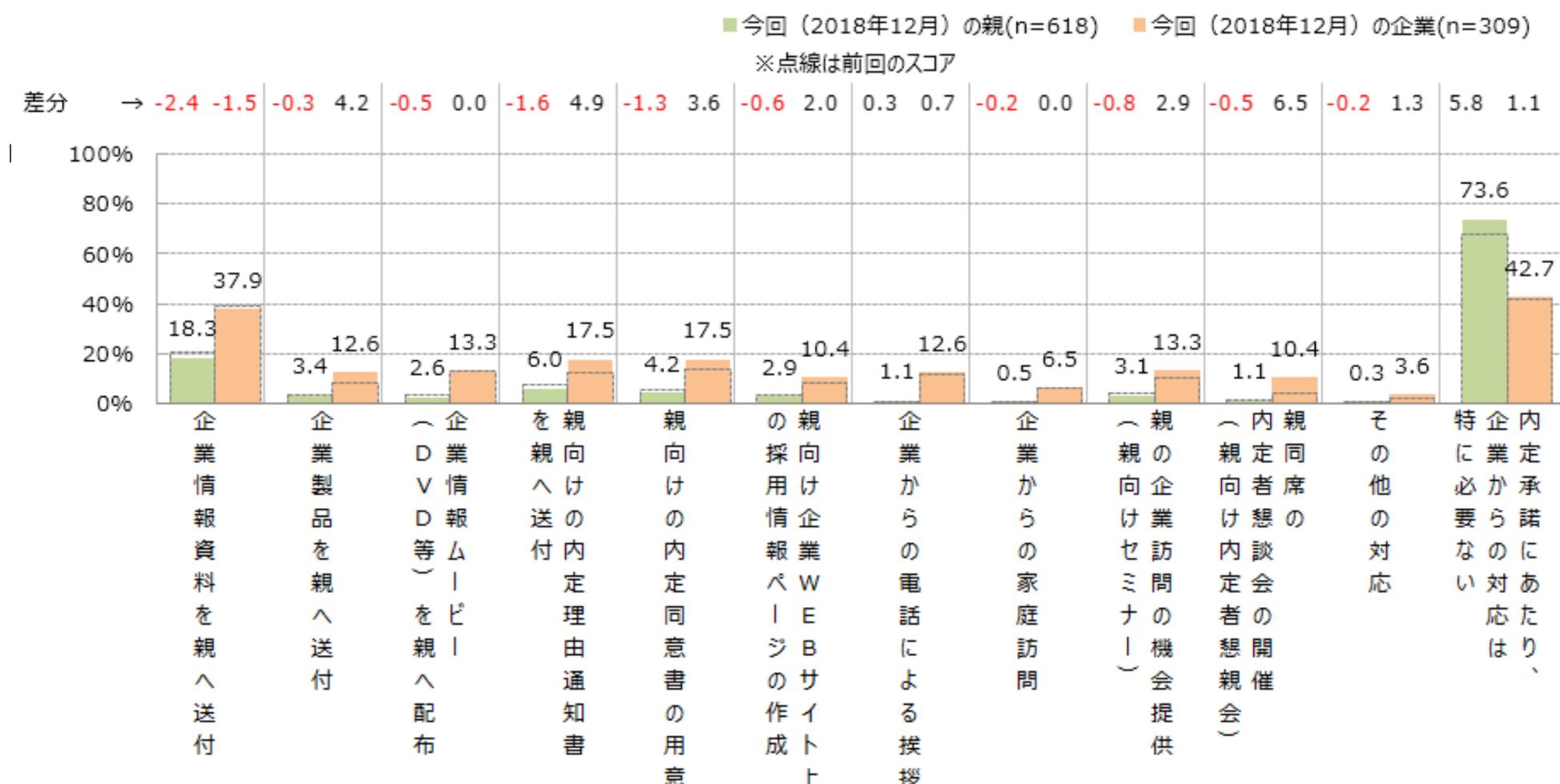


【本件についての報道関係のお問い合わせ先】
株式会社ネオキャリア 広報部 TEL : 03-5657-3187 E-mail : koho@neo-career.co.jp

3 【企業／親】親が希望する「オヤカク」施策 ／企業が必要だと考える「オヤカク」施策

- 親が希望する「オヤカク」施策は、「企業情報資料の送付」、「親向けの内定理由通知書」、「親向けの内定同意書」の順でトップスリー。企業側も同順。
- 昨年との比較で、「内定承諾にあたり、企業からの対応は得に必要ない」と考える親・企業が増えた。一方で、各施策をみると、オヤカク各施策を「必要だ」と考える企業は、11項目中8項目で前年を上回り、親を対象とした施策への関心の高まりが明らかである。

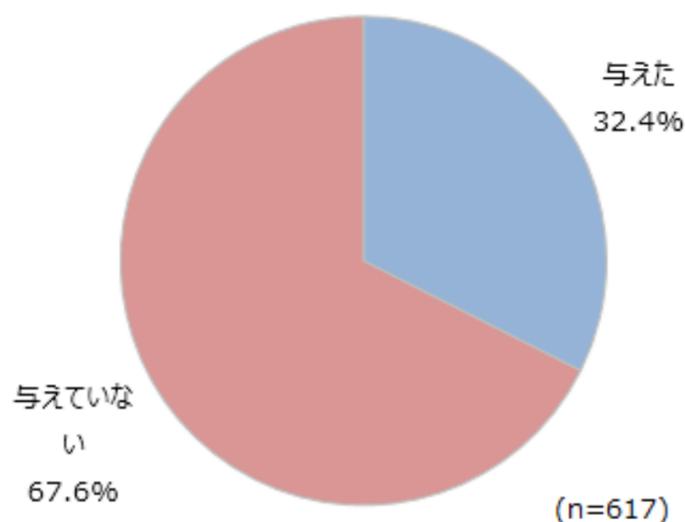
■ 親が希望する「オヤカク」施策／企業が必要だと考える「オヤカク」施策（親・企業／複数回答）



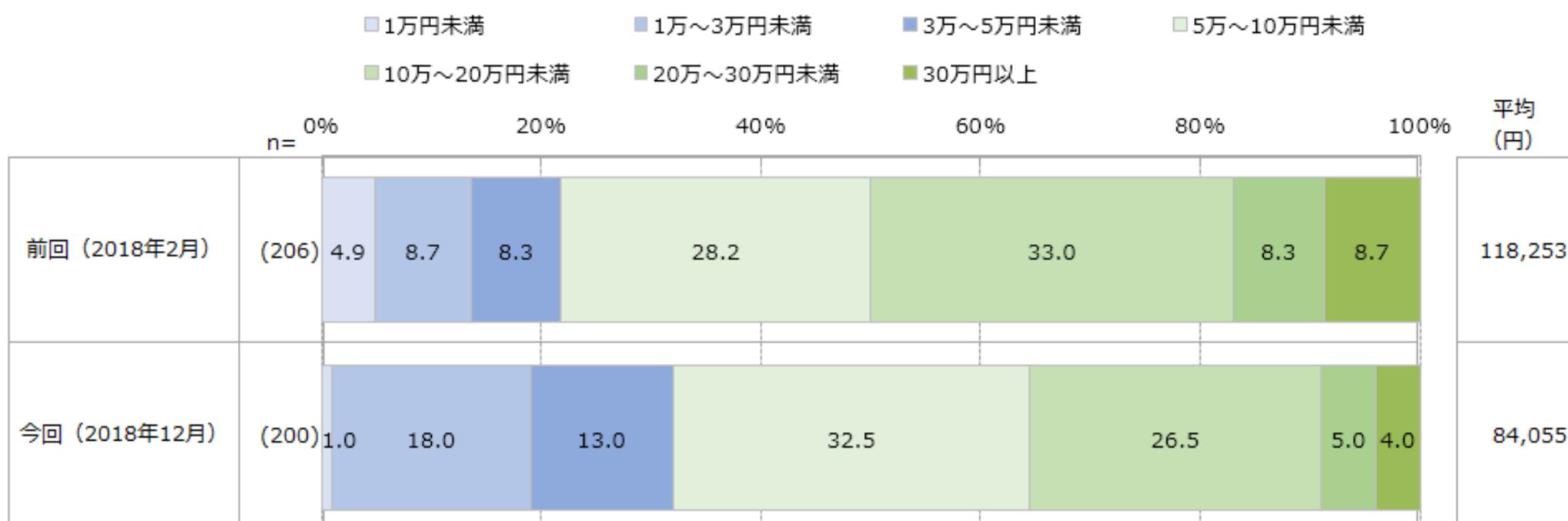
4-1 【親】子の就職活動に対する支援（資金） -1

- 子の就職活動にあたり、資金的な援助を行ったことのある親は32.4 %と、前年度の33.3%から0.9ポイント減。親が与える支援金の平均は84,055円と、前回の118,253円から34,198円減少した。
- 支援金額の内訳では、5万円未満の金額帯が、前年度（21.9%）から今年度（32.0%）へと10.1ポイント増加した。また、10万円以上の金額帯が、前年度（50.0%）から今年度（35.5%）へと、14.5ポイント減少した。
- エリア別の平均額は、首都圏59,717円、東海エリア83,077円、関西エリア104,373円と、前回に引き続き関西エリアが最も高額。平均から20,318円高額であった。

■ 子の就職活動に対する、金銭的支援の実施有無（親/単一回答）【今回】



■ 子の就職活動に対する、金銭的支援の金額（親/単一回答）



4-1 【親】子の就職活動に対する支援（資金） -2

■ 子の就職活動に対する支援で、金銭的支援の金額について（親※エリア・男女別／単一回答）

		n=	1 万円 未満	1 万 満 2 万円 未 満	2 万 満 3 万円 未 満	3 万 満 4 万円 未 満	4 万 満 5 万円 未 満	5 万 満 6 万円 未 満	6 万 満 7 万円 未 満	7 万 満 8 万円 未 満	8 万 満 9 万円 未 満	9 万 満 10 万円 未 満	10 万 満 20 万円 未 満	20 万 満 30 万円 未 満	30 万 満 40 万円 未 満	40 万 満 50 万円 未 満	50 万円 以上	平均 (円)
前回（2018年2月）		(206)	4.9	2.9	5.8	7.3	1.0	21.8	1.9	2.4	1.9	-	33.0	8.3	5.3	0.5	2.9	118253.0
今回（2018年12月）		(200)	1.0	6.0	12.0	12.5	0.5	26.0	2.5	1.5	2.5	-	26.5	5.0	1.5	0.5	2.0	84055.0
父母別	親(全体)	(200)	1.0	6.0	12.0	12.5	0.5	26.0	2.5	1.5	2.5	-	26.5	5.0	1.5	0.5	2.0	84055.0
	首都圏エリア	(60)	-	5.0	18.3	16.7	-	30.0	5.0	-	-	-	20.0	5.0	-	-	-	59716.7
	東海エリア	(65)	-	7.7	9.2	12.3	1.5	26.2	3.1	3.1	1.5	-	24.6	6.2	3.1	-	1.5	83076.9
	関西エリア	(75)	2.7	5.3	9.3	9.3	-	22.7	-	1.3	5.3	-	33.3	4.0	1.3	1.3	4.0	104373.3
	父親	(76)	-	3.9	3.9	7.9	-	31.6	2.6	-	1.3	-	36.8	6.6	2.6	-	2.6	106026.3
	母親	(124)	1.6	7.3	16.9	15.3	0.8	22.6	2.4	2.4	3.2	-	20.2	4.0	0.8	0.8	1.6	70588.7
	首都圏エリア_父親	(18)	-	-	5.6	11.1	-	38.9	5.6	-	-	-	27.8	11.1	-	-	-	80444.4
	首都圏エリア_母親	(42)	-	7.1	23.8	19.0	-	26.2	4.8	-	-	-	16.7	2.4	-	-	-	50833.3
	東海エリア_父親	(23)	-	4.3	4.3	8.7	-	30.4	4.3	-	-	-	34.8	4.3	8.7	-	-	93695.7
	東海エリア_母親	(42)	-	9.5	11.9	14.3	2.4	23.8	2.4	4.8	2.4	-	19.0	7.1	-	-	2.4	77261.9
	関西エリア_父親	(35)	-	5.7	2.9	5.7	-	28.6	-	-	2.9	-	42.9	5.7	-	-	5.7	127285.7
	関西エリア_母親	(40)	5.0	5.0	15.0	12.5	-	17.5	-	2.5	7.5	-	25.0	2.5	2.5	2.5	2.5	84325.0
年代別(親)	40代	(40)	-	5.0	17.5	12.5	-	20.0	-	-	7.5	-	30.0	7.5	-	-	-	72000.0
	50代	(145)	1.4	6.9	11.0	12.4	0.7	26.9	2.8	2.1	1.4	-	25.5	4.1	1.4	0.7	2.8	86813.8
	60代	(15)	-	-	6.7	13.3	-	33.3	6.7	-	-	-	26.7	6.7	6.7	-	-	89533.3
エリア×年代別(親)	首都圏エリア×40代	(15)	-	6.7	33.3	13.3	-	33.3	-	-	-	-	13.3	-	-	-	-	42333.3
	首都圏エリア×50代	(39)	-	5.1	12.8	20.5	-	28.2	7.7	-	-	-	20.5	5.1	-	-	-	62179.5
	首都圏エリア×60代	(6)	-	-	16.7	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	16.7	-	-	-	87166.7
	東海エリア×40代	(10)	-	10.0	10.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	30.0	10.0	-	-	-	74000.0
	東海エリア×50代	(50)	-	8.0	10.0	10.0	2.0	28.0	2.0	4.0	2.0	-	24.0	6.0	2.0	-	2.0	81400.0
	東海エリア×60代	(5)	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	118000.0
	関西エリア×40代	(15)	-	-	6.7	6.7	-	6.7	-	-	20.0	-	46.7	13.3	-	-	-	100333.3
	関西エリア×50代	(56)	3.6	7.1	10.7	8.9	-	25.0	-	1.8	1.8	-	30.4	1.8	1.8	1.8	5.4	108803.6
	関西エリア×60代	(4)	-	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	57500.0

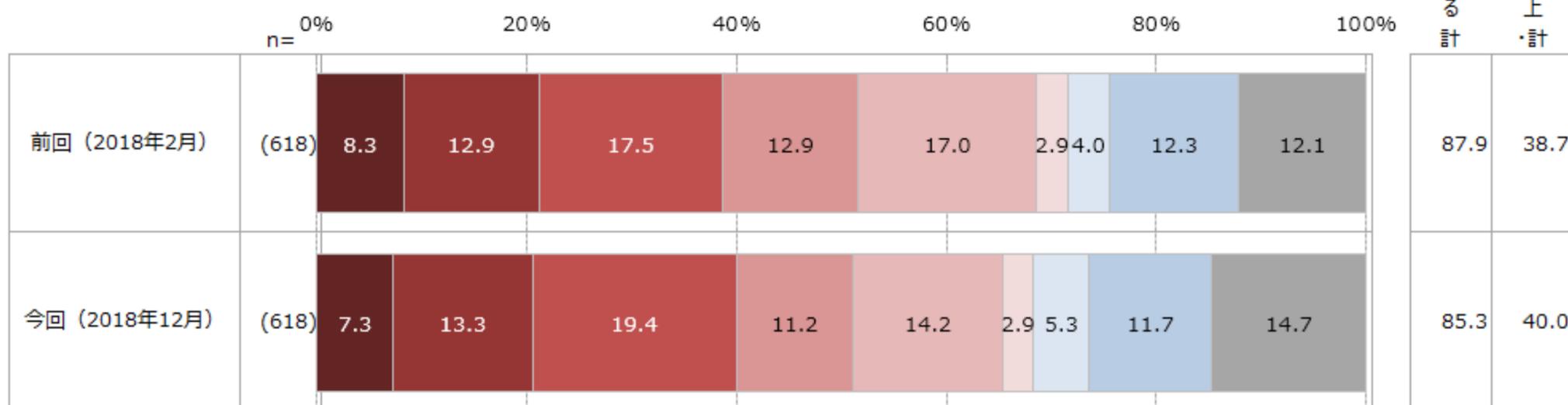
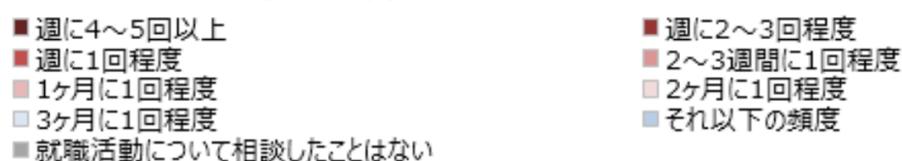
【本件についての報道関係のお問い合わせ先】

株式会社ネオキャリア 広報部 TEL : 03-5657-3187 E-mail : koho@neo-career.co.jp

4-2 【親】子の就職活動に対する支援（アドバイス／全体）

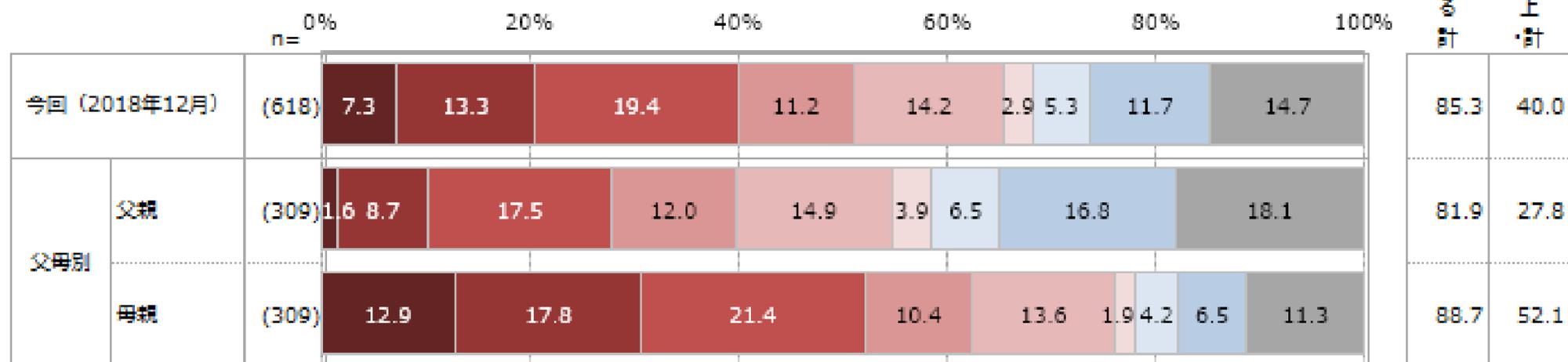
- 子に対して行うアドバイス頻度は、「週に1回程度」が19.4%で最多。「相談する」計では昨年比で2.6ポイント減少するなど相談頻度は全体的に減少傾向だが、「『週に1回程度』以上の頻度」と括るとは昨年比で1.3ポイント上昇した。
- 父母別では、母親への高い相談頻度が顕著。「『週に1回程度』以上の頻度」の相談は、母親が52.1%に対し父親が27.8%と、その差は24.3ポイントであった。しかし「相談する」計では父母の差は6.8ポイントと大幅に縮まることから、頻度の高低はあれ、父母それぞれが子の相談に乗る姿が垣間見える

■ 子の就職活動における相談頻度について（親／単一回答）



※相談する計（「週に4～5回以上」～「それ以下の頻度」）
 ※週に1回以上・計（「週に4～5回以上」～「週に1回程度」）

■ 子の就職活動における相談頻度について（親／単一回答） <父母別>

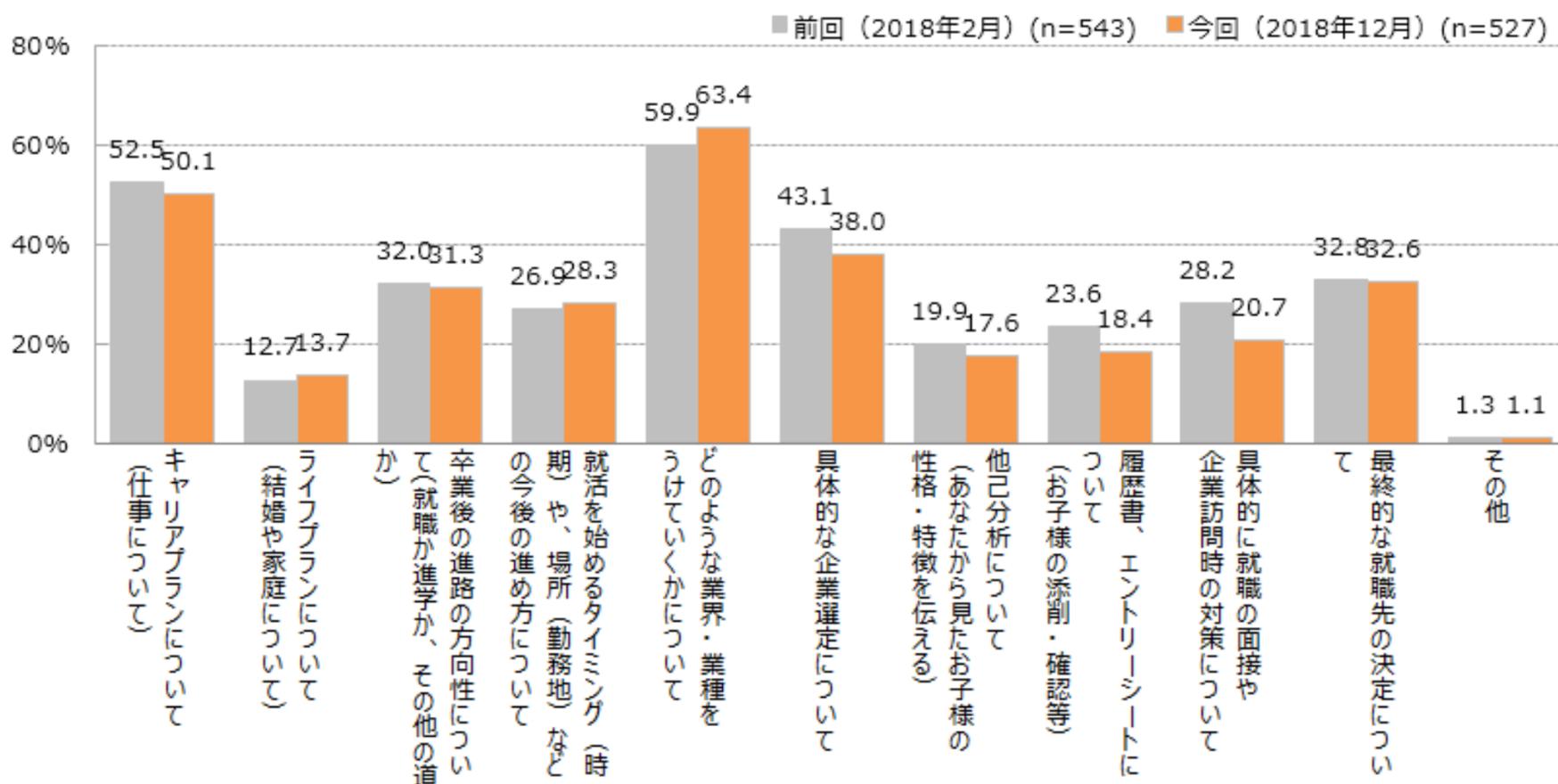


※相談する計（「週に4～5回以上」～「それ以下の頻度」）
 ※週に1回以上・計（「週に4～5回以上」～「週に1回程度」）

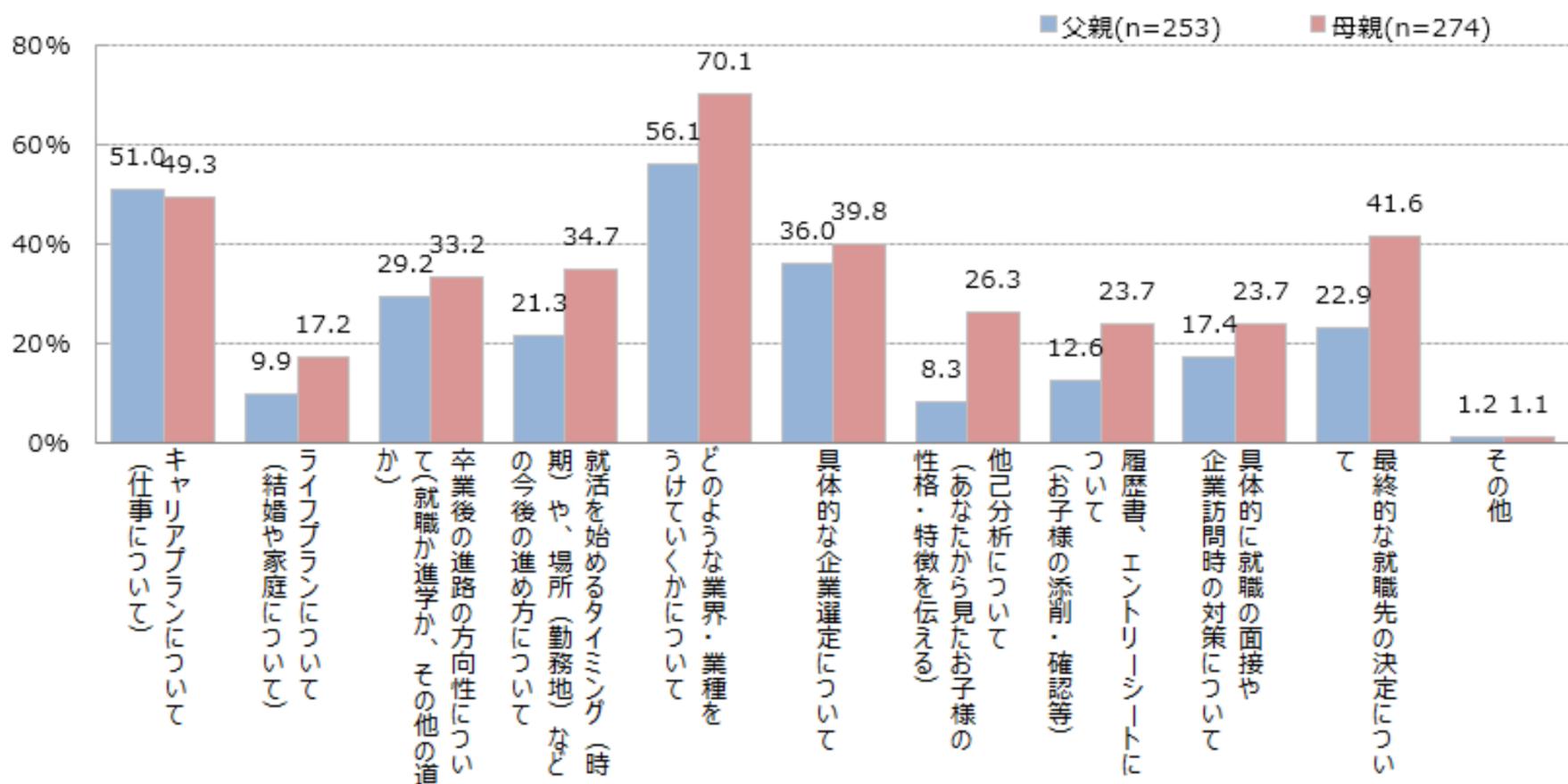
4-2 【親】子の就職活動に対する支援（アドバイス／父母別）

- アドバイスの内容は、「どのような業界・業種をうけていくかについて」（63.4%）が突出して高く、「キャリアプランについて」（50.1%）が続く。前回と比較すると、企業選定や就職面接・企業訪問時対策などの具体的なアドバイスは減り、広い視点での相談が増加した。
- 父母別では、「キャリアプランについて（仕事について）」を除く全ての項目で、母が父を上回る結果となった。

■ 子の就職活動における相談内容について（親／複数回答）



■ 子の就職活動における相談内容について（親／複数回答） <父母別>



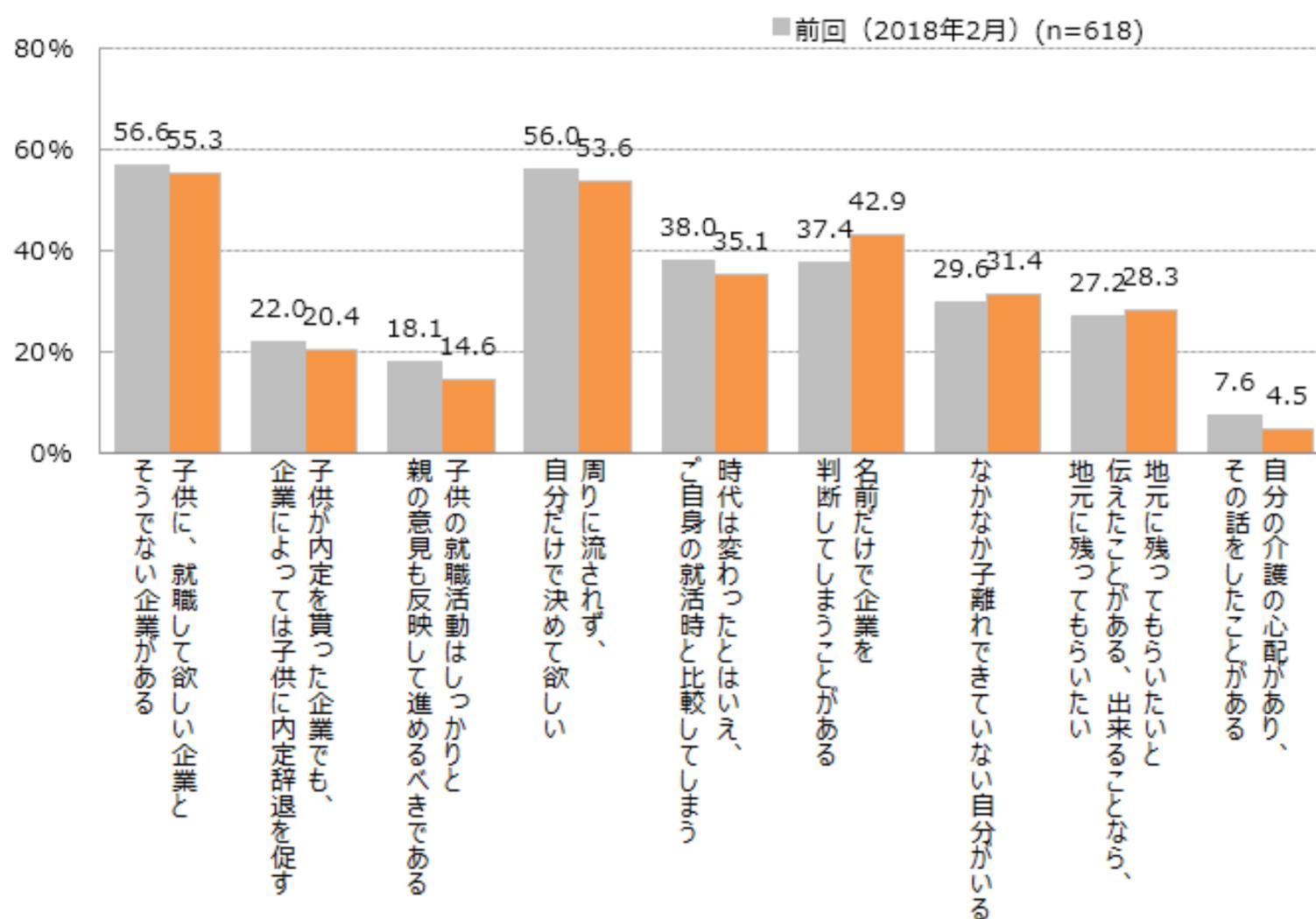
【本件についての報道関係のお問い合わせ先】

株式会社ネオキャリア 広報部 TEL：03-5657-3187 E-mail：koho@neo-career.co.jp

5 【親】就職活動のトレンドについての意識

- 子の就職活動に対する親の考え方として、各項目に対し「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したうち、最も高いのは、「子供に就職してほしい企業とそうでない企業がある」（55.3%）、次いで「周りに流されず、自分だけで決めてほしい」（53.6%）。
- 昨年との比較では、「名前だけで企業を判断してしまうことがある」が5.5ポイントと最も大きく増加。その他、「なかなか子離れできていない自分がある」「地元に残ってもらいたいと伝えたことがある」が昨年比で増加した。この他の項目はすべて昨年比で減少した。
- 前頁で具体的な就活アドバイスが減少した傾向と合わせ、親側の認識としては、全体的に就活への強い介入は減少傾向にあると読み取れる。

■ 子の就職活動に対する親の考え方（親／単一回答）

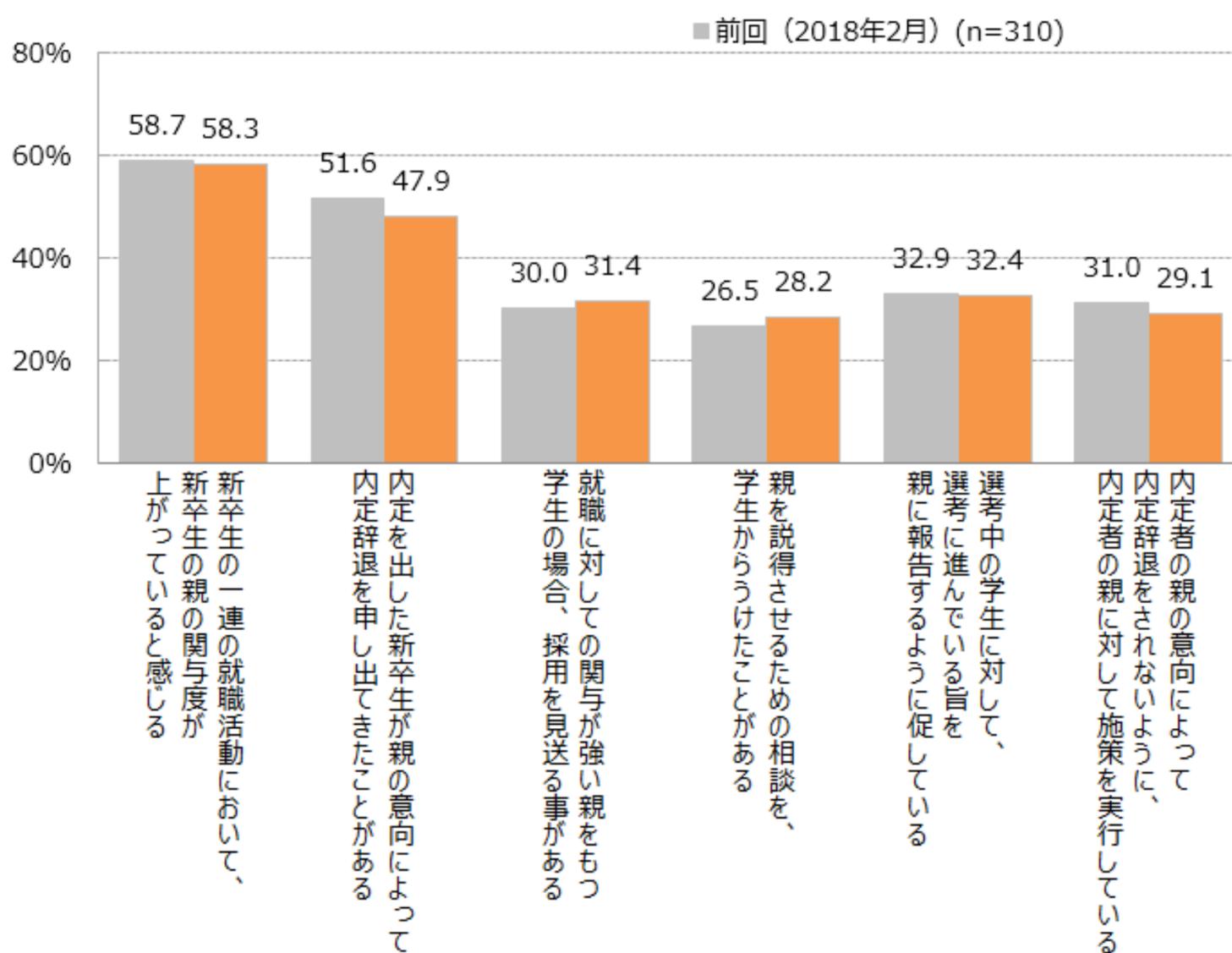


※スコアは「あてはまる」+「ややあてはまる」の合計値

6 【企業】就職活動のトレンドについての意識

- 学生の就職活動に対する企業（人事担当者）の意識として、各項目に「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したうち、もっとも高いのは「新卒生の親の関与が高まっている」（58.3%）。次いで「親の意向によって内定辞退を申し出てきたことがある」（47.9%）。
- 昨年との比較では、「就職に対する関与度の高い親をもつ学生の採用を見送る事がある」「親を説得するための相談を学生から受けた」が昨年比で増加。その他の項目では微減した。

■ 昨今の就活状況についての企業の考え方（企業／単一回答）



※スコアは「あてはまる」+「ややあてはまる」の合計値